



地域（亀山市）と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員 県政レポート

長田たかひさ

2020年 3月
No.45



事務所

〒519-0124 亀山市東御幸町233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会等

●教育警察常任委員会 委員
(教育委員会、公安委員会(警察本部)の所管及びこれに関連すること)
●予算決算常任委員会 理事
●議会運営委員会 委員

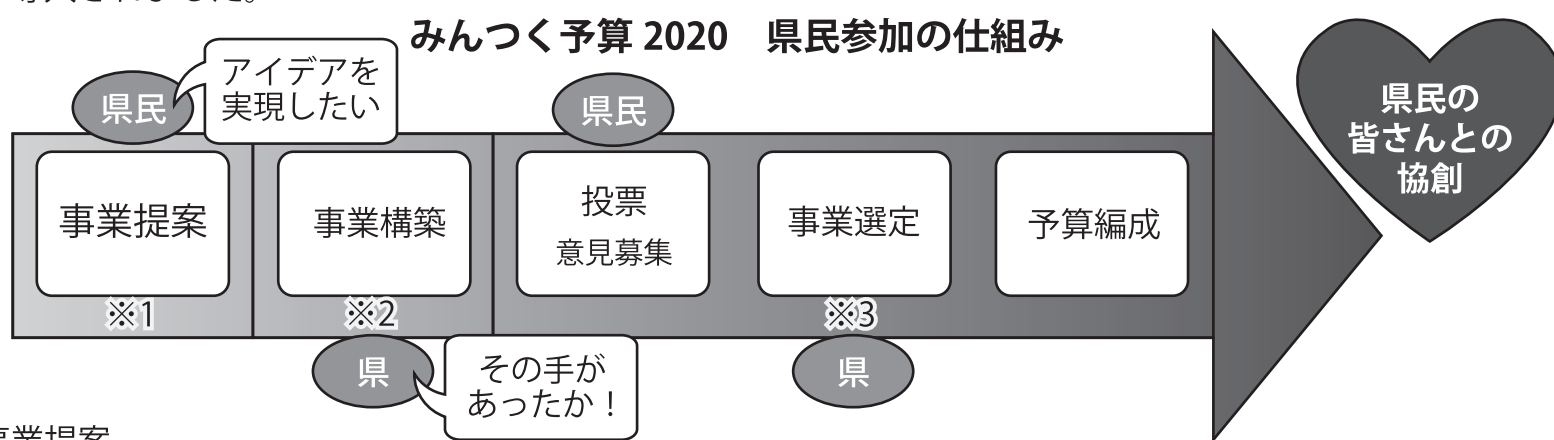
◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

令和2年度一般会計予算より

■県民参加型予算「みんなでつくるか みえの予算(みんつく予算)」の導入 50,204,000 円

概要

「みんなでつくるか みえの予算(みんつく予算)」とは、行政が実施する事業内容を決めるプロセスに市民が参加する仕組みで、1989年にブラジルのポルト・アレグレ市で始まり、フランスのパリ市など欧米で広まりました。日本では、都道府県レベルでは、東京都庁が2018年度予算編成から都民による事業提案と投票の仕組みを導入し、三重県でも、厳しい財政状況の中でも、県民の皆さんとの協創で予算を作り上げるという観点から、2020年度予算編成から導入されました。



※1 事業提案

2019年9月20日から10月18日まで実施され、計229件の提案が集まりました。(事業提案内訳)

①居住地別 三重県内の方 182件 三重県外の方 47件

②年齢別

10代(1件)、20代(33件)、30代(62件)、40代(65件)、50代(21件)、60代(15件)、70代(14件)、80代(4件)、不明(14件)(グループでの提案の場合には代表者の方の居住地及び年齢をカウント(最低年齢:18歳、最高年齢:81歳))

※2 事業構築

審査の結果229提案から20事業が構築されました。

※3 投票、事業選定(採択)、予算編成

投票の結果、6,505票の投票があり、次の6事業、予算額5,020万4千円が選定されました。

No.	得票数	事業名(事業内容)
	予算額	
1	739票	みんなでつくる避難所プロジェクト事業(避難所グッズの開発や防災レシピコンテスト等の実施)
	990万3千円	
2	687票	映画で知ろう!「みえで活躍する外国人住民」事業(県内で活躍している外国人住民を紹介するドキュメンタリー映画を外国人住民等とともに制作し、上映を通じて多文化共生への理解を促進)
	980万円	
3	511票	県民参加・体験型食品ロスゼロ啓発プロジェクト事業(食品関連企業、フードバンク団体、行政、県民の皆さんなど、多様な主体が参加する食品ロスをテーマにした県民参加・体験型イベントの開催)
	735万5千円	
4	501票	子どもたちのインターネットトラブル防止事業(子どもたちがSNSに起因したトラブルやいじめに巻き込まれることを防ぐため、SNSにおけるトラブル等に係る情報等を投稿できるアプリを作成し、大学生等の協力を得ながらSNSパトロールやネットの適正利用に係る啓発・講座の実施)
	1000万円	
5	479票	これからの移動手段チャレンジ事業(次世代モビリティを活用した移動手段に関するセミナーの開催や試乗会など、新たな視点での高齢者向けモビリティ・マネジメントの取組を実施)
	574万円	
6	458票	みえの宝!子ども見守り活動応援プロジェクト(青色回転灯装備車両で子どもの見守り活動等に従事する防犯ボランティアに対し、ドライブレコーダー等を貸与)
	740万6千円	

◇県政報告会を行っています

775回	1月11日	城西地区コミュニティセンター	779回	2月1日	関ヶ丘集会所	783回	2月15日	山下町集落農事集会所	787回	2月24日	二本松公民館
776回	1月18日	城東地区コミュニティセンター	780回	2月8日	野村地区コミュニティセンター	784回	2月16日	道野公民館	788回	3月1日	田茂公民館
777回	1月26日	落針公民館	781回	2月9日	北鹿島集会所	785回	2月22日	南鹿島公民館	789回	3月15日	久我公民館
778回	1月26日	野尻公民館	782回	2月13日	太岡寺公民館	786回	2月23日	御幸地区コミュニティセンター			

■ 高齢運転者等の安全運転支援

① 高齢運転者交通安全緊急対策事業 1,805 万円

県の取組 後付け安全運転支援装置の取り付け支援
後付け安全運転支援装置の普及事業を行う市町への補助の実施
対象 ①三重県内に居住する令和 2 年度中に満 70 歳以上になる自動車運転免許保有者
(令和元年 12 月 31 日現在 県内免許保有者 125 万 5,944 人 (内満 70 歳以上 21 万 8,312 人))
②車検証に「自家用」、申請者が「使用者」と記載されている車
③車に安全運転支援装置を設置し、1 年以上その装置を使用する者 等の条件を満たす者
運転に不安を覚える高齢者の支援
自主返納制度、運転免許証自主返納サポートみえの周知を図るため、普及啓発を行う
市町の取組 後付け安全運転支援装置 (ペダルの踏み間違い等による急加速を抑制する装置) を取り付けた高齢者への補助事業の実施

※参考 (令和元年度の国のサポカー購入補助)

令和元年度中に満 65 歳以上となる方を対象に、①対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置を搭載する車 (サポカー) ②後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の購入及び設置に補助金を支給する。

①サポカー購入補助

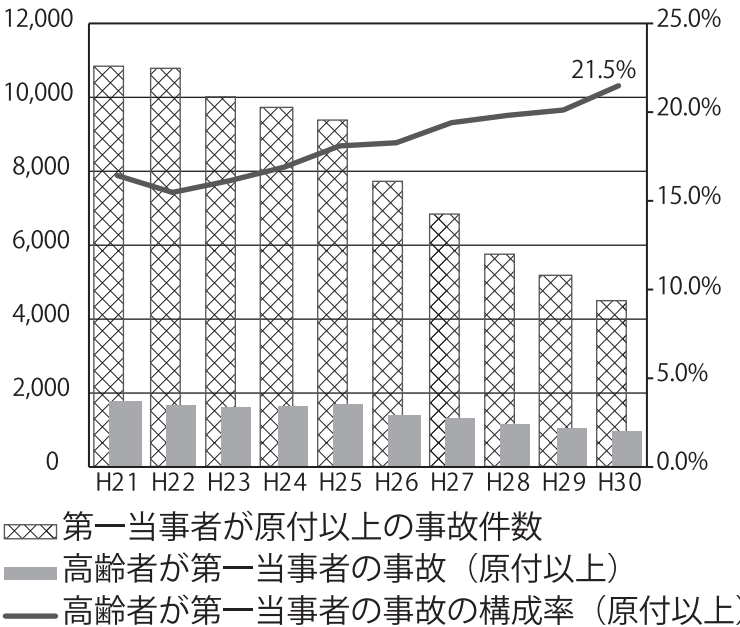
対象： i) 対歩行者の衝突被害軽減ブレーキ
ii) ペダル踏み間違い急発進抑制装置

	i かつ ii を搭載する車両	i のみを搭載する車両
登録車	10 万円	6 万円
軽自動車	7 万円	3 万円
中古車	4 万円	2 万円

②後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置購入補助

・障害物検知機能付きペダル踏み間違い急発進抑制装置等	上限	4 万円
・ペダル踏み間違い急発進抑制装置	上限	2 万円

参考 県内の交通人身事故発生件数の推移 (過去 10 年間における第一当事者が原付以上の事故)



② 高齢運転者交通事故緊急対策事業 335 万円

交通事故を起こした満 70 歳以上の高齢運転者を対象に、自らの運転能力を自覚させ、より実践的な教育を県内の 21 箇所の指定自動車学校と連携して実施する。安全運転サポート車の乗車体験を行ったり、場合によっては、免許返納の契機につなげる。

■ 令和元年度最終補正予算について

新型コロナウイルス感染症への対応：6,160 万 1 千円

①防疫対策事業 (医療保健部) 5,871 万 5 千円

新型コロナウイルス感染症の予防や感染拡大防止のため、帰国者・接触者外来に協力する医療機関に対する空気清浄機等の設置に対する支援や相談窓口の設置、医療用マスク・防護服・検査試薬の購入等を実施する。

②県立学校児童生徒等健康管理事業 (教育委員会事務局) 288 万 6 千円

児童生徒への感染を予防するため、全県立学校で手指消毒液等を購入する。

※参考 新型コロナウイルス感染症 電話相談窓口

1. 開設時間

9 時 00 分から 21 時 00 分まで
(土曜日・日曜日・祝日も対応)

2. 設置場所と電話番号

(1) 保健所

桑名保健所	0594-24-3625
四日市市保健所	059-352-0594
鈴鹿保健所	059-382-8672
伊賀保健所	0595-24-8070
津保健所	059-223-5184
松阪保健所	0598-50-0531
伊勢保健所	0596-27-5137
尾鷲保健所	0597-23-3428
熊野保健所	0597-89-6115

(2) 三重県庁

・医療保健部薬務感染症対策課
059-224-2339(専用回線)

3. その他の相談窓口

・厚生労働省 電話番号 0120-565653(フリーダイヤル)
受付時間 9 時 00 分から 21 時 00 分まで
(土曜日・日曜日・祝日も対応)

尚、次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください

・風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている方
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます。)

・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上記の状態が 2 日程度続く場合

帰国者・接触者相談センター連絡先 (24 時間受付※)

(1) 9 時 00 分から 21 時 00 分まで
(土曜日・日曜日・祝日も対応)

各保健所 (番号は左の「電話相談窓口」と同じ)

(2) 21 時 00 分から翌 9 時 00 分まで

三重県救急医療情報センター (059-229-1199) にお電話下さい。